

研究・技術発表プログラム

座長：吉延 匡弘 (島根大学)

- A01 09:15 – 09:30 茨城県産コウヨウザン平パレットの強度性能 (第2報) ラミナの曲げ強度
(広島総研) ○渡辺靖崇, 涌嶋 智, 齋藤一郎, 山本 健,
(森林総研林育セ) 近藤禎二, 藤澤義武,
(森林総研林育セ北海道) 生方正俊
- A02 09:30 – 09:45 広島県産コウヨウザンのヨウ素法によるマイクロフィブリル傾角測定
(広島総研) ○山本健, 渡辺靖崇, 齋藤一郎
- A03 09:45 – 10:00 島根県産クリ板の乾燥スケジュール作成とその評価
(島根中山間地研セ) ○村上裕作
- A04 10:00 – 10:15 宮島細工の轆轤師の系譜と技法の特徴
(広島工大) ○森田秀樹

休憩 10:15 – 10:25

座長：加藤 定信 (島根大学)

- A05 10:25 – 10:40 インドネシア原産茶葉 (*Orthosiphon aristatus* と *Tithonia diversifolia*) の化学成分と糖質分解酵素阻害活性
(香川大農) ○Nisrina Nurfachri, 鈴木利貞, 片山健至
- A06 10:40 – 10:55 促進酸化法を活用した紙おむつのリサイクル
—各種酸化条件がリサイクルパルプにおよぼす影響—
(高知大院農) ○吉田周生, 市浦英明
- A07 10:55 – 11:10 プラズマ放電処理による表面改質和紙の水分吸着特性
(島大院自科) ○吉延匡弘, 平岡凜太郎, 吉原 浩
- A08 11:10 – 11:25 1年間の屋内曝露による難燃処理 LVL の防火性能への影響
(鳥取林試) ○岡本瑞輝, ((株)オロチ) 清水淳一

休憩 11:25 – 11:35

座長：藤本 高明 (鳥取大学)

- A09 11:35 – 11:50 Two Rail Shear 法によるスギ薄物 CLT の面内せん断試験
(鳥取林試) ○佐々木裕介
- A10 11:50 – 12:05 県産製材 JAS 規格材を用いたキングポストトラスの強度試験
(鳥取林試) ○森田浩也
- A11 12:05 – 12:20 鳥取県産スギ材の寸法安定性と材齢等との関係について
(鳥取林試) ○桐林真人

日本木材学会中国・四国支部第33回研究発表会 公開シンポジウム
(森林バイオマス利用セミナー2022)

木材産業へのデータ科学の活用を探る

2022年9月9日(金) 9:00-12:00

鳥取大学農学部大講義室

大規模建築物の木造化やセルロースナノファイバーを原料とした機能性材料開発にみられるように、木材の利用形態は日増しに多様化、高度化しています。これをうけ、原材料である木材に対してより確かな品質・性能が要求されるようになり、例えば、製造過程で含水率やヤング係数といった様々な性質が日々大量に計測されています。このいわばビックデータに対して、人工知能などの最新のデータ科学技術を駆使することによって有益な情報を引き出し、製造工程の最適化や製品品質の高度化などにつなげられるかもしれません。本シンポジウムでは、農学および木質科学の分野で先進的にデータ科学研究に取り組まれている2名の先生をお招きし、木材産業へのデータ科学の活用の可能性について議論します。

【講演 9:10-11:00】

9:10-10:00

「農業DXをリードするミルフィューデータセット」

鳥取大学農学部生命環境農学科 森本 英嗣 氏

10:10-11:00

「分光分析法による木材の材質評価_ケモメトリクス・機械学習・深層学習」

名古屋大学大学院生命農学研究科 稲垣 哲也 氏

【総合討論 11:15-12:00】

まず、鳥取県の木質材料メーカーより現行の資源管理、品質管理の状況について話題提供していただきます。それを皮切りに、どのような場合でデータ科学が活用されうるかを森本先生と稲垣先生を交えて議論します。

司会進行：藤本高明（鳥取大学農学部）